

総論

満点	100点	目標得点	90点	試験時間	60分	偏差値	法律:77 政治:76
大問数	4	小問数	50				
【解答形式】		選択式	50/50問	記述式	0/50問	論述式	0/50問
【問題難易度】		C	4/50問	B	7/50問	A	39/50問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：例年の通り、マークシート方式の選択問題のみで、全50問である。
- 2：前近代に比重が多く、分野的には政治史・経済史・文化史がほぼおなじ比重で出題されている。
- 3：史料問題が大問で一つあり、未見の史料を読解する能力が試されている。

こんな力が求められる！

- ①基本的な用語の理解と暗記
- ②テーマ別に時代を超えた流れを理解する能力
- ③未見の史料を読解して自分の知識と結びつける応用力

大問別分析

【問題Ⅰ】

予想配点	24 / 100点	時間配分の目安	14 / 60分
出題分野・テーマ	ヤマト政権から鎌倉時代の血縁集団		
出題形式	選択		
小問別解答と難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (1)(2)-06 (氏長者) A (3)(4)-11 (兼通) C (5)(6)-47 (道長) A (7)(8)-18 (興福寺) A (9)(10)-15 (橘) B (11)(12)-04 (一門) A (13)(14)-28 (惣領制) A (15)(16)-02 (一期分) A (17)(18)-32 (田部) A (19)(20)-49 (物部尾輿) A (21)(22)-42 (房戸) A (23)(24)-14 (北畠親房) A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	【前期】 3月期①-2回 原始・古代2 古代王権の形成と発展 3月期②-2回 原始・古代6 律令体制の動揺と再編 4月期2回 中世2 承久の乱と執権政治の確立 4月期3回 中世3 鎌倉幕府の衰退・滅亡と南北朝の動乱		

●解答のポイント&学習対策等

ヤマト政権の氏姓制度から平安時代を経て鎌倉時代の武士の惣領制までの血縁集団の変遷をたどった問題。(3)(4)の「藤原兼通」が細かいが、他の問題は解答できる問題。基本的な用語がほとんどだが、(23)(24)の北畠親房を選ぶ問題も、『神皇正統記』の史料的な内容を押えておかなければ解けない問題もあり、単なる暗記だけではなく、内容を理解しつつ勉強しておく必要がある。

【問題Ⅱ】

予想配点 24 / 100 点	時間配分の目安 14 / 60 分
出題分野・テーマ 古代から戦前期の史学史	
出題形式 選択	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (25)(26)-39 (日本三代実録) A (27)(28)-06 (栄花物語) B (29)(30)-01 (吾妻鏡) A (31)(32)-19 (古史通) A (33)(34)-13 (久米邦武) B (35)(36)-32 (津田左右吉) A (37)(38)-47 (藤原時平) A (39)(40)-31 (竹取物語) A (41)(42)-49 (藤原通憲) A (43)(44)-56 (増鏡) A (45)(46)-53 (藤原頼経) A (47)(48)-14 (契沖) A	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 【前期】夏期文化史1回 史学史	

●解答のポイント&学習対策等

古代から全時代をとおした史学史の問題。お茶ゼミの分野別文化史をしっかりと復習しておけば満点を取れるレベルの問題である。

【問題Ⅲ】

予想配点 26 / 100 点	時間配分の目安 14 / 60 分
出題分野・テーマ 全時代の経済史(前近代の商業・近代の財閥)	
出題形式 選択	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (49)(50)-28 (三国志) A (51)(52)-04 (一遍上人絵伝) A (53)(54)-40 (問丸) A (55)(56)-62 (本所) A (57)(58)-41 (問屋) A (59)(60)-49 (徳川吉宗) A (61)(62)-16 (株) B (63)(64)-08 (大久保利通) B (65)(66)-51 (長崎) A (67)(68)-31 (重要産業統制法) A (69)(70)-01 (鮎川義介) A (71)(72)-66 (持株会社整理委員会) A (73)(74)-50 (独占禁止法) B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 【前期】3月期①-2回 原始・古代2 古代王権の形成と発展 3月期②-2回 原始・古代6 律令体制の動揺と再編 4月期4回 中世4 中世社会経済の発達と庶民の台頭 6月期3回 近世4 幕藩制社会の安定 7月期4回 近・現代3 明治政府の富国強兵策 夏期近現代Ⅰ-5回 近・現代8 産業革命-資本主義の成立と発達- 【後期】9月期2回 戦後史2 混迷する経済と国際社会への復帰	

●解答のポイント&学習対策等

古代の市の発達から流通の流れをたどり、商業資本が近代にいたり財閥へと発展したという流れにもとづく問題。(61)(62)の「株」が若干わかりにくい、株仲間の意味を把握していれば解ける問題。(63)(64)の殖産興業政策を提案した「大久保利通」も解答が困難だが、内務・に就任したことを思い出せば容易。(73)(74)の「独占禁止法」のように法律の内容をしっかりと理解しておく必要がある。

【問題Ⅳ】

予想配点 26 / 100 点	時間配分の目安 18 / 60 分
出題分野・テーマ 幕末から明治時代の政治史	
使用されている資料 史料（桂太郎の自伝）	
出題形式 選択	
小問別解答と難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (75)(76)-61（馬関）C (77)(78)-74（陸軍）A (79)(80)-71（山県有朋）A (81)(82)-49（徴兵令）A (83)(84)-21（憲政党）C (85)(86)-68（北清事変）A (87)(88)-02（伊藤博文）A (89)(90)-77（露国）A (91)(92)-56（東清）A (93)(94)-76（旅順）B (95)(96)-14（桂太郎）A (97)(98)-11（大山巖）C (99)(100)-72（山本権兵衛）A	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 【前期】7月期3回 近・現代2 江戸幕府の滅亡と明治政府の成立 夏期近現代Ⅰ-2回 近・現代5 立憲国家の成立 夏期近現代Ⅰ-4回 近・現代7 日露戦争と戦後外交の展開	

●解答のポイント&学習対策等

問題文の史料「ある人物の自伝」が桂太郎の自伝であるか気づくかどうかのポイントとなる。問題文を読む中で、「血税」という語から、(77)(78)「陸軍」に関係していること、(81)(82)「徴兵令」を発令した(79)(80)「山県有朋」と関係が深いこと、(89)(90)「露国」と戦争をしたときの首相、などのキーワードから、史料の前後を判定して読み解くという応用力が問われる問題なので、用語を暗記しているだけでは太刀打ちできない。政治の流れと人物名・事件を組み合わせることで理解しておくこと。そして、未見の史料にも普段から慣れて、前後関係を読み解く能力が必要である。(75)(76)は、桂太郎が長州藩出身で、下関外国船砲撃事件があったことから「馬関」が解答となるが、受験レベルを超えている難問。(83)(84)が「憲政党」という政党名が入ることに気づきにくい。また、(97)(98)の「大山巖」は、日露戦争の奉天会戦からの類推から解けるがこれも難問。それ以外は、上記の応用力があれば解ける問題である。